

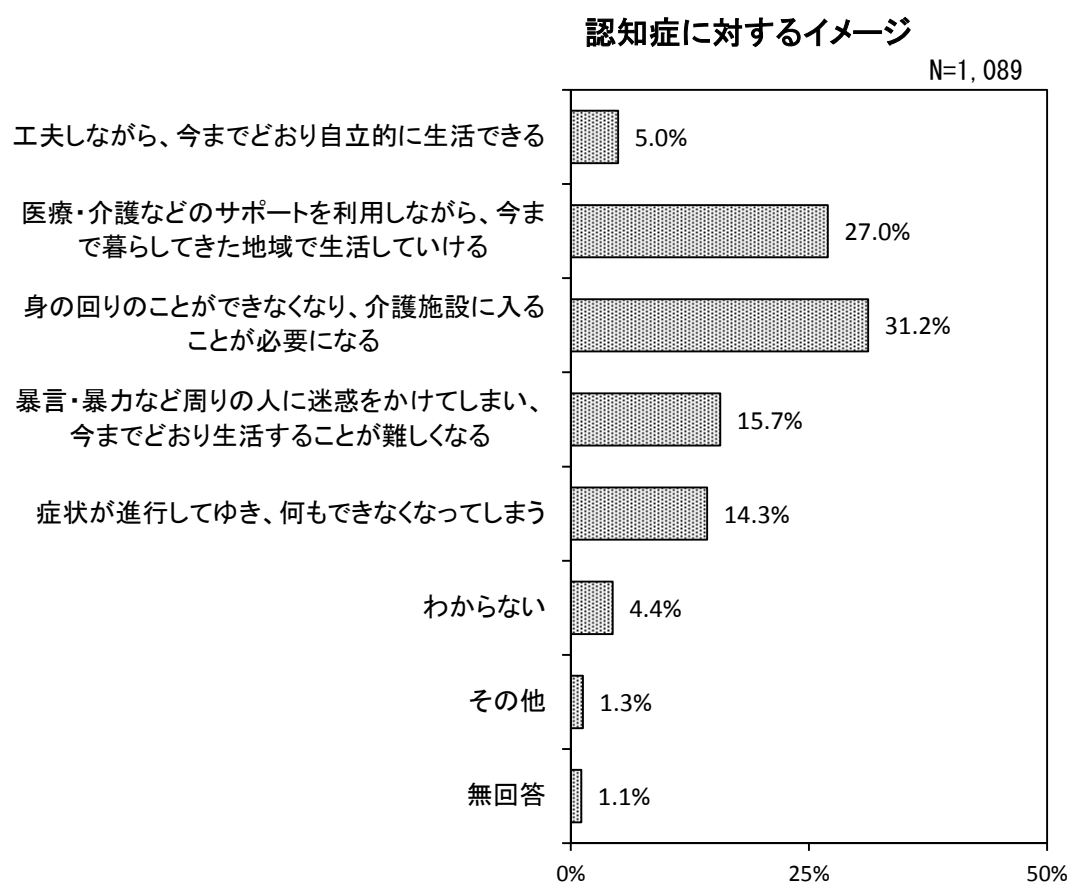
## 4. 認知症への対応について

認知症に対するイメージから施策に至るまで、幅広く富士宮市の現状を把握することができました。この結果を今後の事業計画に反映し、更なる認知症施策の充実を図っていきます。

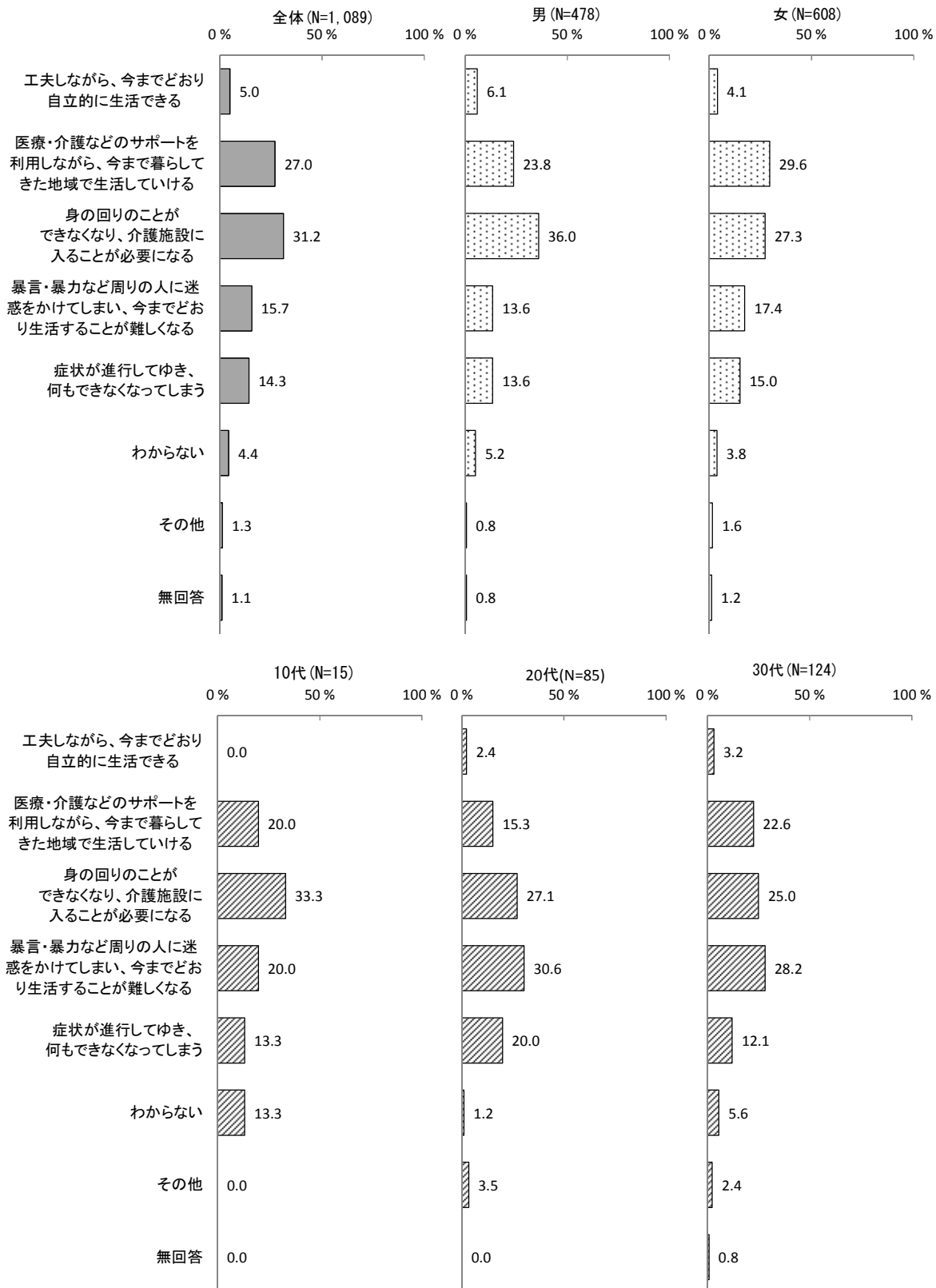
### 19 認知症に対するイメージ

#### 問 13 あなたが思う、認知症に対するイメージはなんですか。

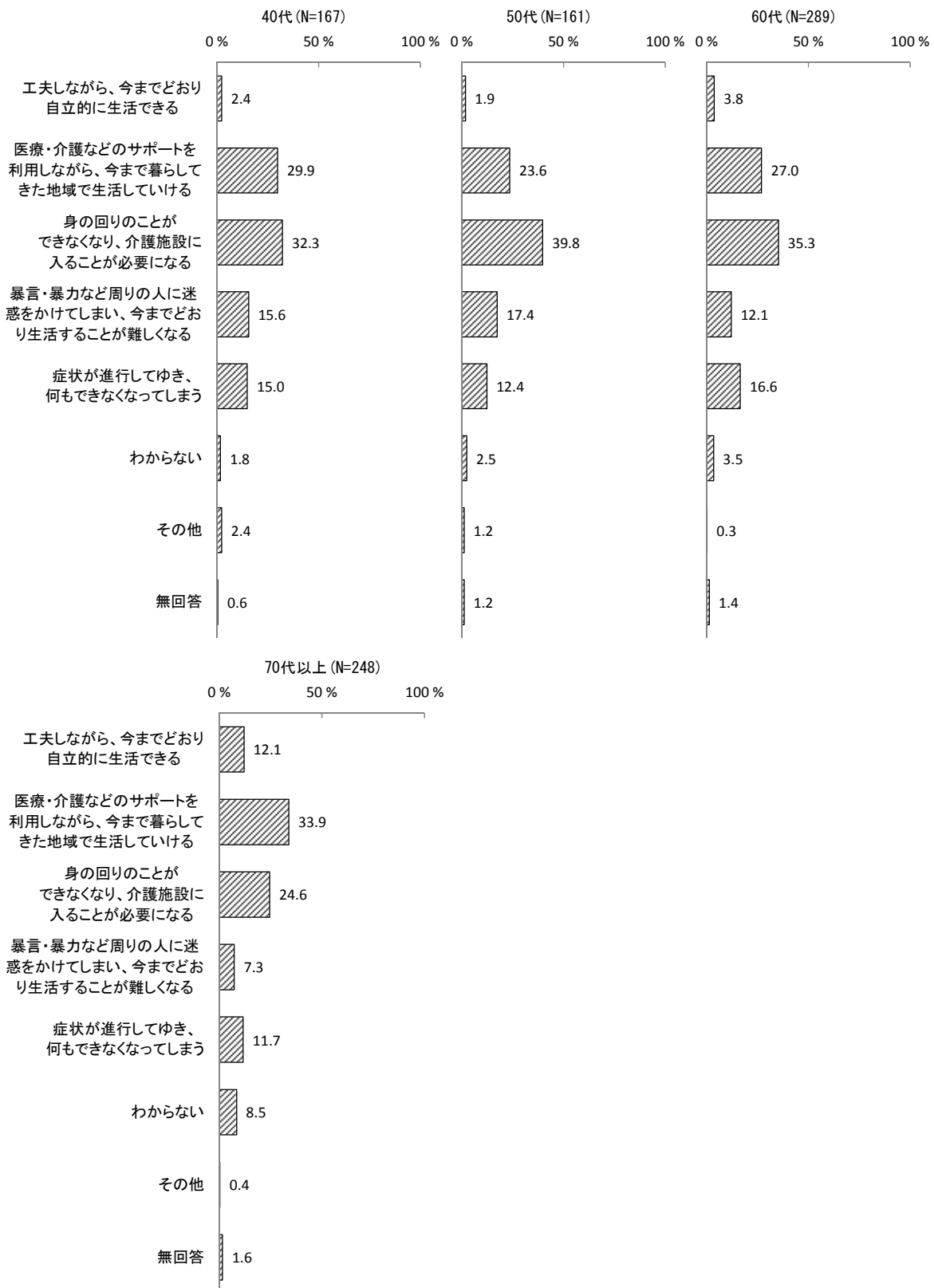
認知症に対するイメージでは「身の回りのことができなくなり、介護施設に入ることが必要になる」が最も多く 31.2%、次いで「医療・介護などのサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活していける」が 27.0%となっています。



## 19 認知症に対するイメージ（性別）（年代別）



## 19 認知症に対するイメージ（年代別）



## 20 認知症に対する理解

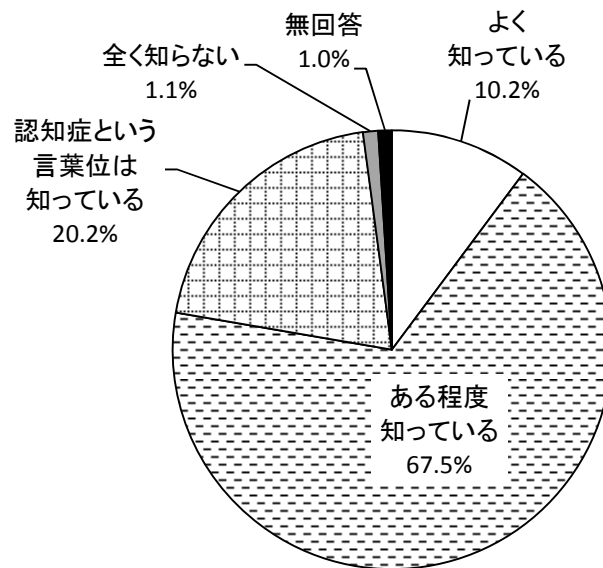
### 問 14 認知症に対する理解について

#### (1) 認知症について、どの程度知っていますか。

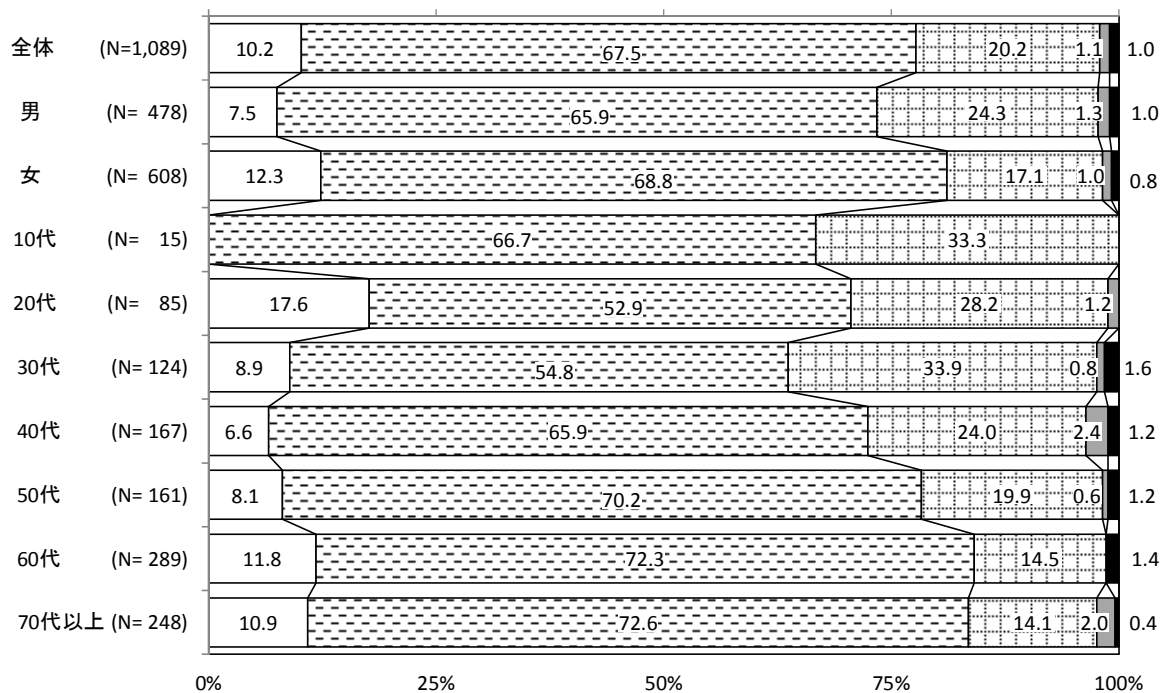
認知症について、知っていますかでは「ある程度知っている」が最も多く 67.5%、次いで「認知症という言葉くらいは知っている」が 20.2%となっています。

認知症についての認知度

N=1,089



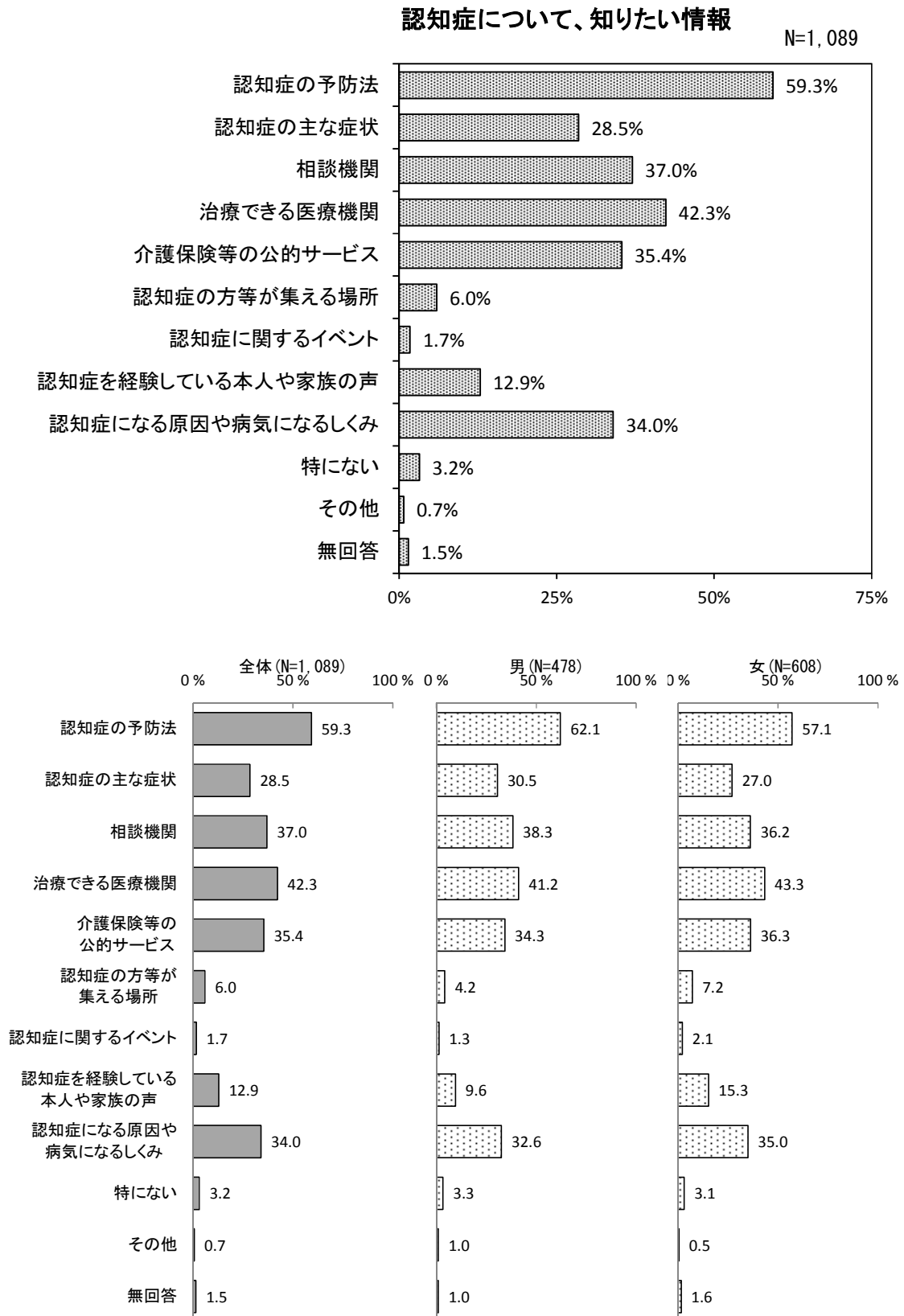
□ よく知っている □ ある程度知っている □ 認知症という言葉くらいは知っている □ 全く知らない ■ 無回答



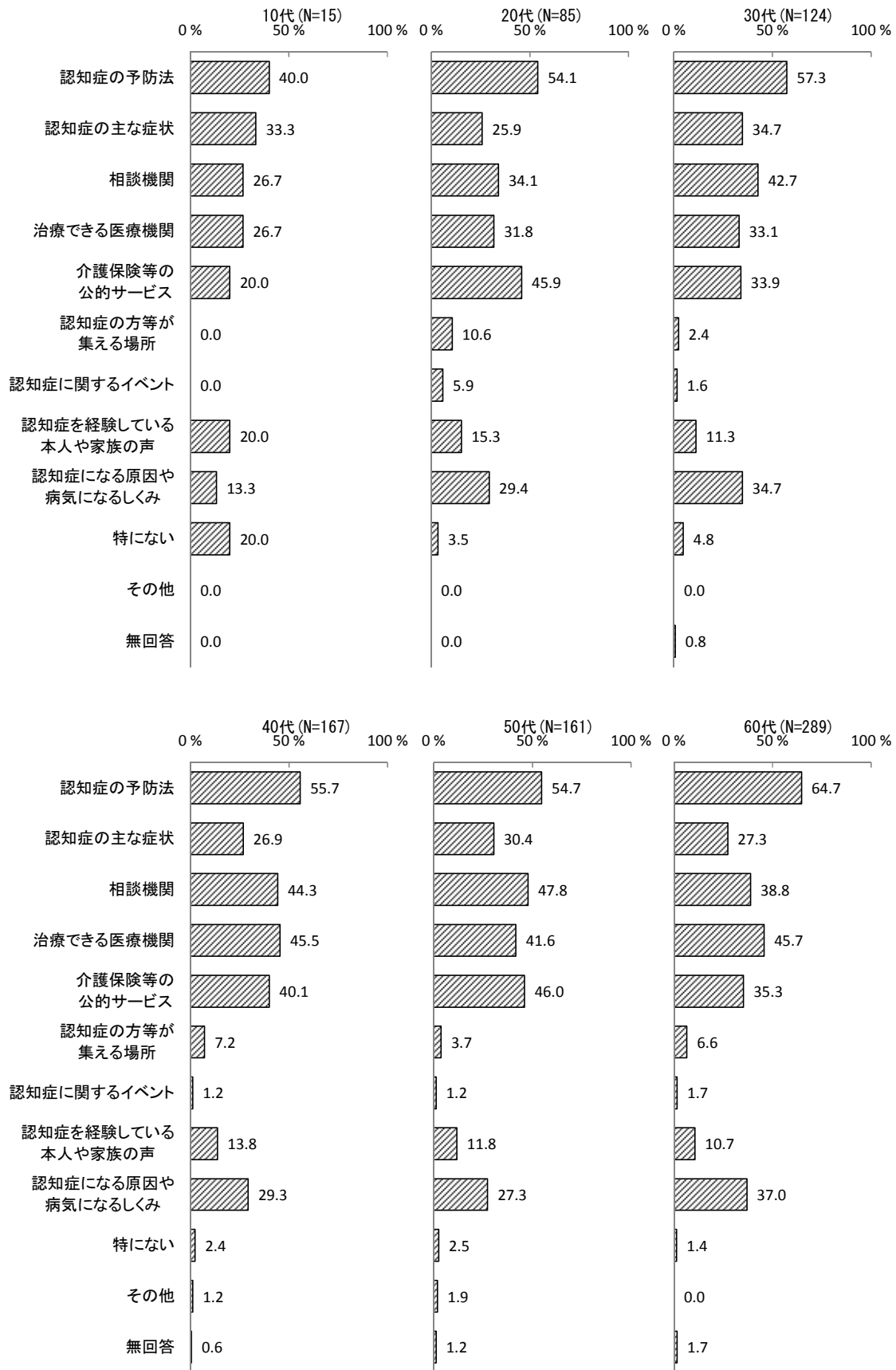
## 21 認知症について、知りたい情報

### (2) 認知症について、知りたい情報は何ですか。【複数回答】

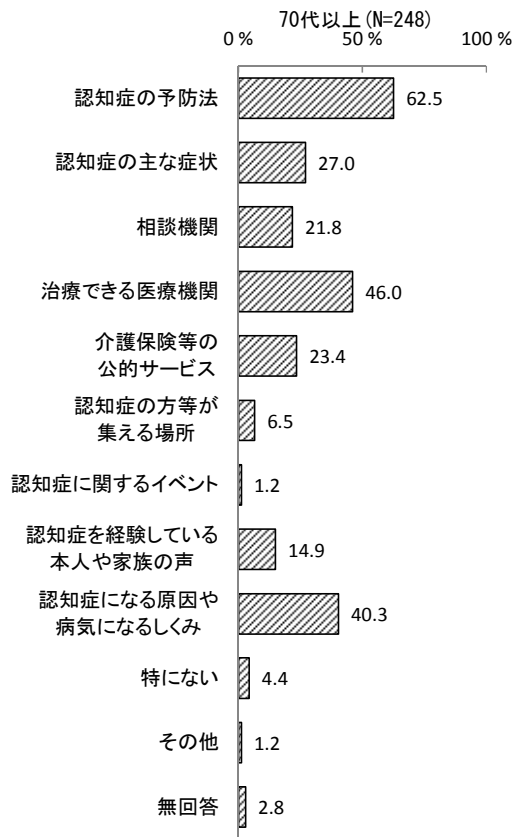
認知症について、知りたい情報では「認知症の予防法」が最も多く 59.3%、次いで「治療できる医療機関」が 42.3%となっています。



## 21 認知症について、知りたい情報（年代別）



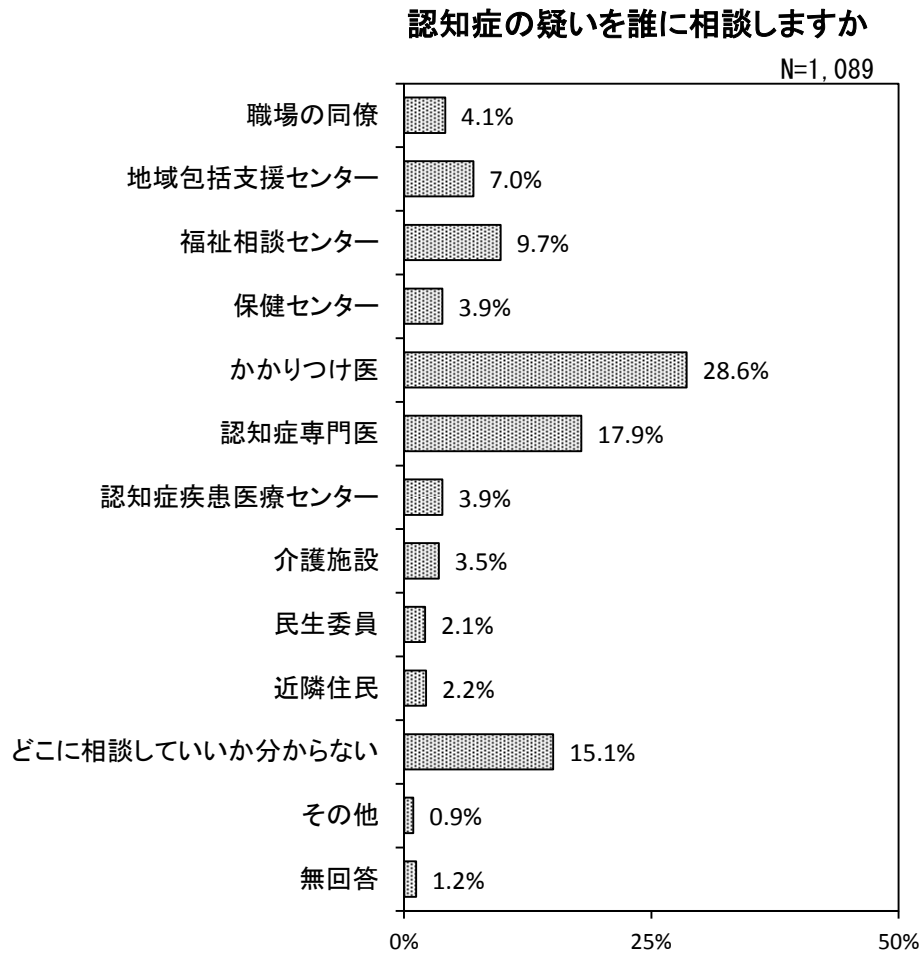
## 21 認知症について、知りたい情報（年代別）



## 22 身のまわりの人の認知症を相談する人

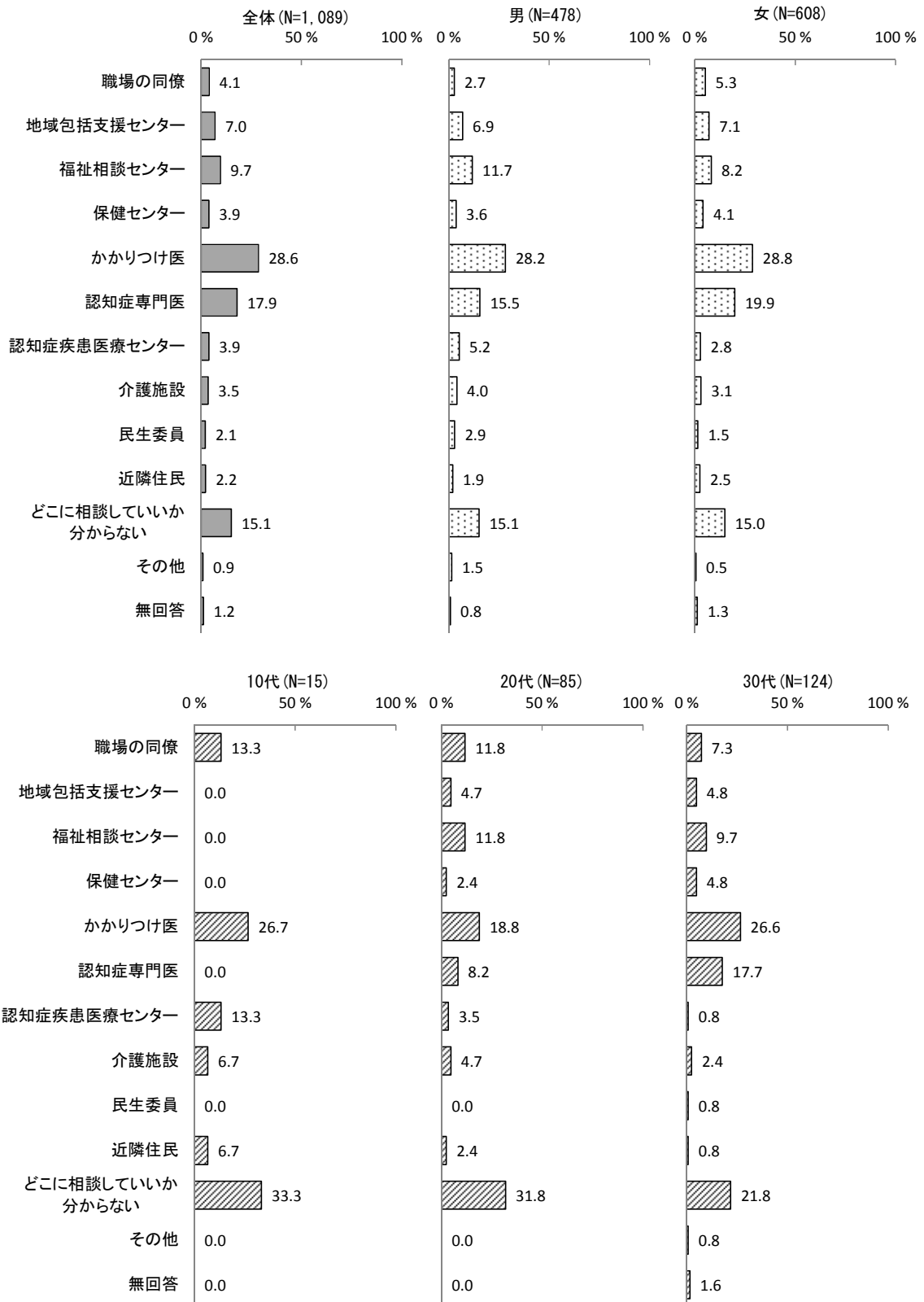
問 15 身のまわりの人が認知症の疑いがあった場合、家族や友人以外で、誰に相談しますか。

認知症の疑いがあった場合、誰に相談しますかでは「かかりつけ医」が最も多く 28.6%、次いで「認知症専門医」が 17.9%となっています。

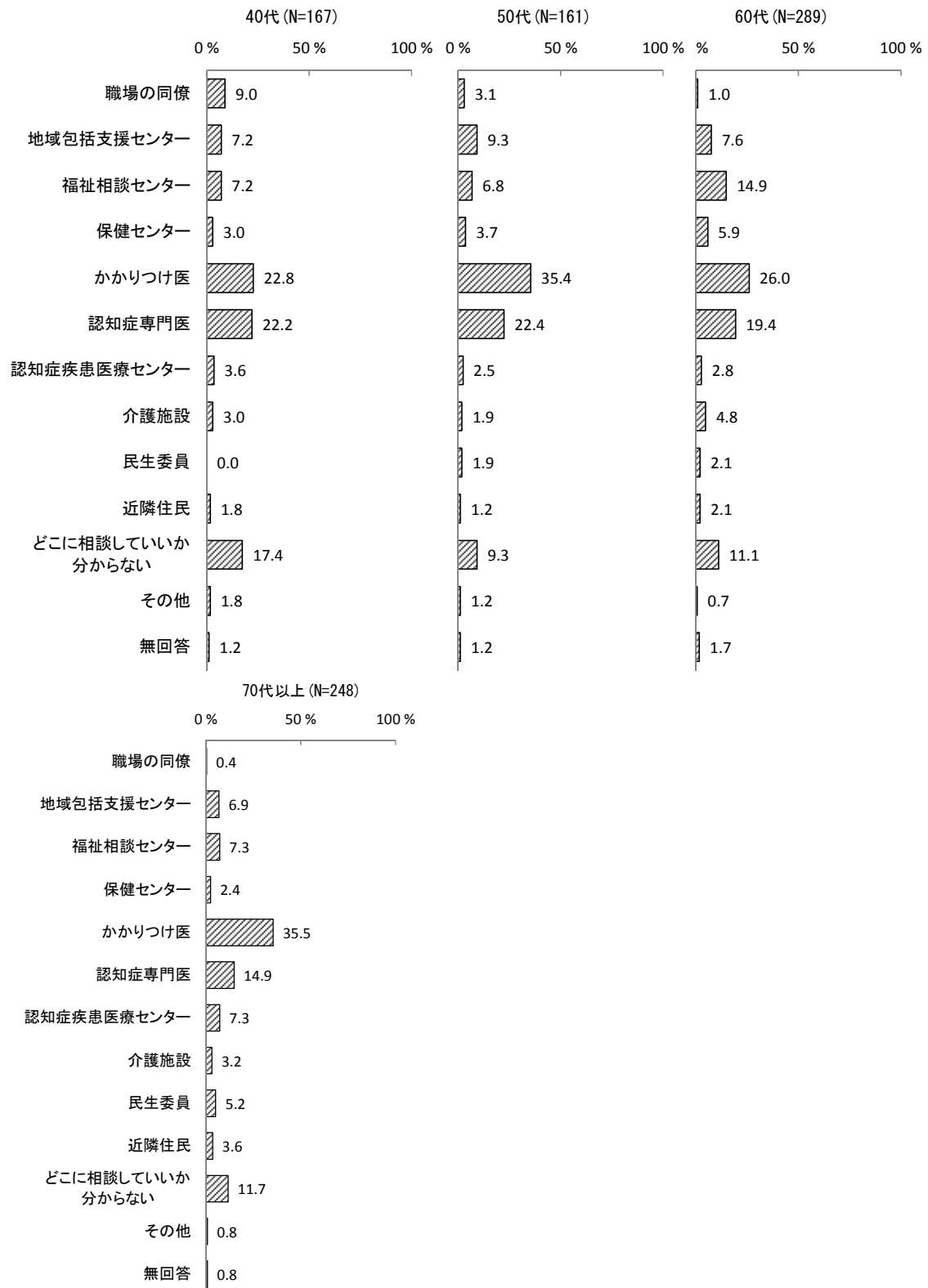




## 22 身のまわりの人の認知症を相談する人（性別）（年代別）



## 22 身のまわりの人の認知症を相談する人（年代別）



## 23 認知症施策で、重要だと考えること

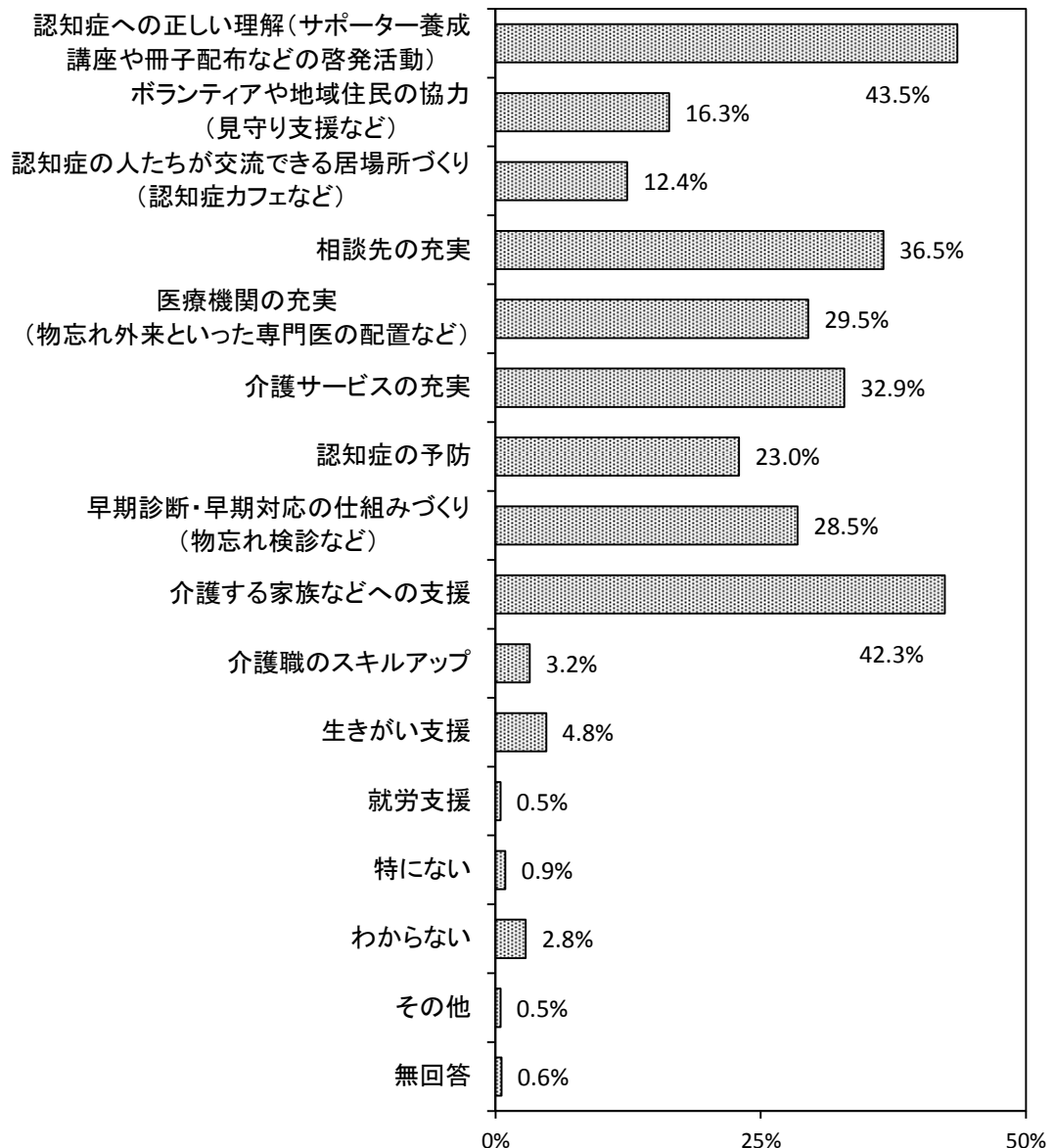
### 問 16 認知症に関する取組みについて

認知症施策をすすめる上で、重要だと考えることは何ですか。【複数回答】

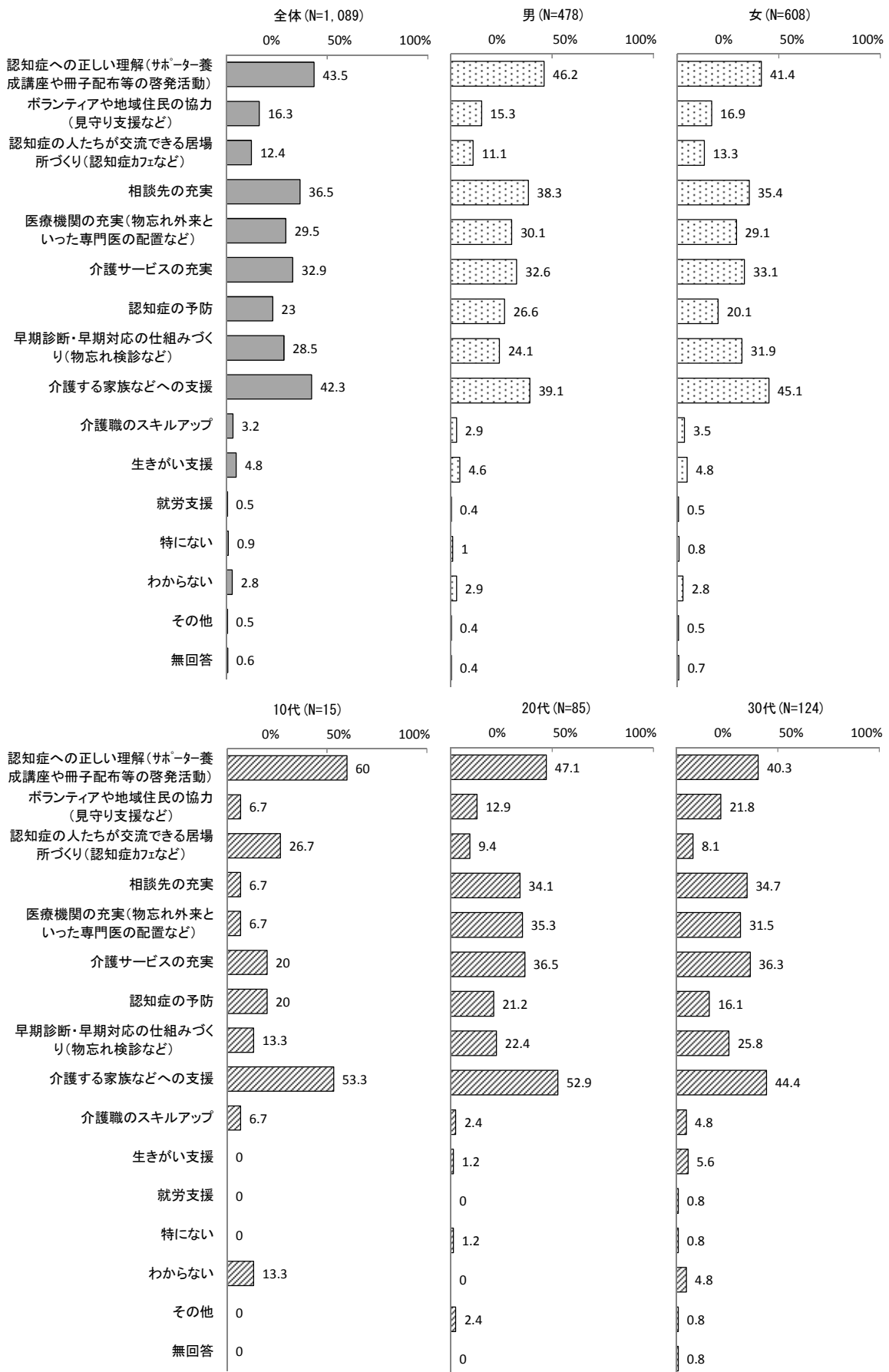
認知症施策で、重要だと考えることでは「認知症への正しい理解（サポーター養成講座や冊子配布などの啓発活動）」が最も多く 43.5%、次いで「介護する家族などへの支援」が 42.3%となっています。

#### 認知症施策で重要だと考えること

N=1,089



## 23 認知症施策で、重要だと考えること（性別）（年代別）



## 23 認知症施策で、重要だと考えること（年代別）

